

高知県立 高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

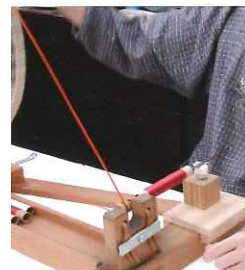
OHAKU NEWS

Volume

19

山内家資料の保存修理

ただ今修理中 容堂所用陣羽織



山内家資料の保存と継承を使命に掲げる当館では、その一環として山内家資料の保存修理事業に取り組んでいます。前身の土佐山内家宝物資料館時代から始まったこの修理事業は、これまでにおよそ120件を数え、その内容も書画や漆芸品、甲冑、刀剣など多岐にわたります。

今年度は、15代土佐藩主山内豊信(号容堂)所用の「とよしげ ひらしゃ緋羅紗じすぢがいもんようきりつけみつがしわもんつきじんばおり地筋違文様切付三柏紋付陣羽織」の修理が京都の修理工場で進められています。この陣羽織は、緋羅紗地に背には三柏紋、袖口から裾には筋違文様を切付けた意匠が特徴的ですが、切付けしろしゆすじの白縺子地と黒紐の縁飾りを中心に経年による損傷が多数みられました。

美術工芸品などの伝世品と呼ばれる文化財の修理では、伝統的な技術や材料を基本に用いて行われます。陣羽織などの染織品も同様で、和裁、染め、織物の技術が修理に応用されます。

特に染織品修理の場合、重要な工程の一つが仕立て糸と補修糸の選択です。劣化で弱くなったオリジナルの生地新しい糸を通すと強度の違いから生地を傷めてしまうため、よく状態を見極め、負荷がかからないよう、その都度手撚りで撚りの本数や太さを調整した糸が使用されます。

当陣羽織は現在、解体、クリーニング、しわ伸ばし、補修絹の染色などの工程を終えて、切付け部分や裏地などの補強・補修作業が進められています。これまで損傷がひどく一度も公開がなわなかった容堂所用の当陣羽織ですが、今回の修理を経て、早ければ来年度に展示を通じて皆様にご覧いただける予定です。ぜひ今後の展示情報にもご注目ください。

「公開承認施設」に認定されました

お知らせ

高知城歴史博物館は、令和4年8月31日付で文化庁より「公開承認施設」に認定されました。「公開承認施設」とは、一定期間・回数の国指定文化財の展示実績や文化財の取り扱いに習熟した専門職員の配置などの要件を満たした適切な施設で、国宝や重要文化財などが公開されることを促進するために設けられた制度です。

「公開承認施設」に認定されたことにより、今後も当館は、貴重な文化財との出会いの場を皆様にご提供してまいります。

酔鯨酒造×高知城歴史博物館 山内容堂コラボレーションボトルが登場

15代土佐藩主 山内容堂の号「鯨海酔鯨」をその名の由来とする酔鯨酒造と当館とのタイアップによるオリジナルラベルの土佐酒が誕生しました。

※当館ではお酒の取り扱いはありません

●販売店
酔鯨お取り扱い酒販店
およびSUIGEI STORE長浜蔵(高知市長浜566-1)

酔鯨酒造×高知城歴史博物館
酔鯨 特別純米酒
山内容堂公 720ml

